

平成17年度地球温暖化防止活動大臣表彰受賞者

4. 環境教育・普及啓発部門

	件数	区分	自治体・学校	企業	民間団体等
申請者数	44	自薦	3	6	13
		他薦	7	1	14
受賞者数	6	自薦	1	1	0
		他薦	1	1	2

受賞者	功 績
滋賀県立八幡工業高等学校	「廃食油の燃料化」を教材化して、その燃料で走行する「新エネルギーエコカート」を生徒が製作。資源のリサイクルや地球温暖化防止等の理解向上を図った。また小学校への出前授業の実施や地域のイベントへの参加を通して、体験を伴った環境教育活動を推進。環境情報発信基地としての役割とともに環境に携わる次世代のリーダーの育成に努めた。
佐川急便(株)	佐川急便及びグループ会社全従業員を対象とした環境行動指針「佐川急便環境行動」を策定。また、環境イベントへの出展や冊子の配布、WWFの「クライメイト・セイバーズ・プログラム」や「温DOWN化計画」への参加等、環境に対する教育や啓蒙活動を実践。
川崎市立柞形中学校	総合的な学習の中に省エネ・環境教育を位置付けて学習を展開。地球環境問題に視点を置いた講演会、校外学習、企業・団体より講師の招へい、体験的な学習を取り入れたワークショップ等の活動計画を作成し実施。また、生徒、教職員、企業・団体、保護者、市民の5つの立場から、取組が継続展開するように学習活動を推進。
特定非営利活動法人ワット神戸	「美しい地球と暮らしを守る新エネルギーと省エネルギーの推進」を目的に地球温暖化防止のための太陽光発電導入の推進、環境負荷低減のための診断コンサルティング事業、地球温暖化防止に向けた各種の教育や啓発・情報提供活動などを継続的に実施。

受賞者	功 績
<p>松下グループ「地球を愛する市民活動」推進委員会</p>	<p>「地球環境との共存の行動を家庭・社会に広げていこう」という趣旨で従業員とその家族を対象に、意識・行動・ライフスタイルの変革を呼びかけ、環境家計簿、エコバッグ持参、環境ボランティア活動などを継続的に実践。日常生活での地球温暖化防止活動を推進。</p>
<p>塩野勝</p>	<p>平成12年から地球温暖化防止活動推進員として、積極的に普及啓発活動として講演会、街頭啓発運動や、小中学校では自作の紙芝居・手作り実験装置・パネル展示などを行い、また、自らも率先して地球温暖化防止活動に取り組むなど幅広く継続的に実施。</p>